

小金井市学校施設長寿命化計画改定支援委託仕様書（案）

1 件名

小金井市学校施設長寿命化計画改定支援委託

2 業務目的

令和2年度に「小金井市学校施設長寿命化計画（以下「長寿命化計画」という。）」を策定して以降、小学校の35人学級への移行、GIGAスクールの進展、バリアフリー化の加速など、学校施設を取り巻く環境が大きく変化していることから、令和4年に文部科学省から公表された「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」をはじめとした学校施設整備のビジョンや指針等を踏まえるとともに、小金井第一小学校における校舎建替え等基本計画及び小金井第三小学校における校舎改築及び長寿命化改修等基本計画、小金井第一小学校校舎改築等基本設計・実施設計を基に現長寿命化計画の分析を行った上で、学校施設の整備方針や長寿命化の実実施計画等の見直しを行い、より実行性のある計画へと改定することを目的とする。

3 履行期限

契約締結日の翌日から令和8年3月31日まで

4 対象施設

小学校9校、中学校5校

5 業務内容

(1) 令和6年度

ア 施設情報の更新

長寿命化計画の基礎的な施設情報である建物情報一覧、劣化状況調査票、学校別条件シートについて、以下の見直し及び更新を行う。

(ア) 管理する情報項目の見直し

建物情報一覧等で整理する情報項目の見直しを行う。

(イ) 資料調査による情報整理

施設の修繕及び改修履歴、点検結果、現状の整備レベル（バリアフリー、省エネ、非構造部材の耐震化、ICT化、防災、防犯等）の資料を調査し、

これらの情報を整理する。

(7) 劣化状況調査の実施と劣化状況評価の更新

- ① 現長寿命計画を策定するにあたり作成した劣化状況調査票を基に、技術者による現地目視調査を実施する。
- ② 施設の修繕及び改修履歴、点検結果、目視調査を踏まえて、劣化状況の評価を更新する。

(8) (7)～(9)の施設情報を学校別に整理したシート（学校別条件シート）を作成する。

イ 現長寿命化計画の分析

現長寿命化計画について、以下の分析を行う。

- (7) 国や都の教育施策、他自治体の取組みの動向・状況等を踏まえ、施設の耐用年数や学校施設の想定規模等について分析を行う。
- (8) 小金井第一小学校における校舎建替え等基本計画及び小金井第三小学校における校舎の一部建替え及び長寿命化改修等基本計画、小金井第一小学校校舎改築等基本設計・実施設計を踏まえ、工事費や設計工事期間、敷地条件等について分析を行う。
- (9) 市の人口ビジョン及び各小中学校の児童生徒数の推移等を用いて将来の児童生徒数及び学級数を適切に推計し、児童生徒数及び学級数の変化について分析を行う。
- (10) (7)～(9)の分析を基に、現長寿命化計画の課題を整理する。

ウ 施設の耐用年数の考え方の整理

現長寿命化計画の分析を基に、施設の耐用年数の考え方及び建築年度が異なる棟の取扱いを整理する。

エ アンケート調査の実施

小学校の1学年及び中学校の1学年の保護者等約1,800人を対象にアンケート調査を以下のとおり実施し、学校施設の目指すべき姿を検討する基礎的な資料とする。

- (7) アンケートの内容は、委託者と受託者が協議の上、10問程度の設問を設けるものとする。
- (8) 受託者はアンケート調査票と回答用封筒を作成する。
- (9) アンケート調査票の配布、回収は委託者において行う。
- (10) 受託者はアンケート調査結果を取りまとめる。その際、回収した調査票は

集計等のため受託者に貸与するが、集計等の作業完了後に委託者に返却するものとする。

(2) 令和7年度

ア 施設整備方針の見直し

現長寿命化計画の分析や5(1)エのアンケート調査を基に、学校施設の目指すべき姿、施設の整備方針及び整備水準、整備単価を見直す。なお、国庫補助の活用を考慮した見直しを行うものとする。

イ 実施計画見直し案の作成

- (ア) 長寿命化計画の基本的条件を定める。
- (イ) 令和8年度から令和17年度における改築・改修の対象校及び工事内容(以下「改修計画」という。)を設定する。
- (ロ) 令和8年度から令和38年度までの長寿命化のコスト見通し(以下「コスト見通し」という。)を試算する。

ウ 更なるコスト削減及び平準化の取組み案の検討

- (ア) イの実施計画見直し案について、更なるコストの削減及び平準化を行うための取組み案を検討する。
- (イ) (ア)の取組み案を反映した改修計画の作成、コスト見通しの試算を行う。

エ 学校施設の複合化・多機能化の検討

学校施設の複合化・多機能化について、市の関連する方針・計画や他自治体の取組み等を踏まえ、長寿命化計画の改定において考慮すべき事項を整理し、計画に反映する。

オ カーボンニュートラルに関する検討

- (ア) 現状把握
光熱水の使用量やコストの経年変化、施設別の年間一次エネルギー消費を把握する。
- (イ) 環境負荷抑制策の検討
ZEB化、木材利用、太陽光発電等の対応と効果を検討する。

カ 継続的な運用方針の策定

- (ア) 以上の業務で作成・活用した情報の更新・活用の仕組みを構築する。
- (イ) 各学校の施設整備の実行段階において活用すべき情報項目を整理し、学校別にまとめる。

キ パブリックコメントの実施の支援

委託者が行うパブリックコメントに係る資料作成、集計、集計結果のとりまとめを行う。

(3) その他

ア 庁内及び学校関係者による検討会議への参加、運営協力、資料及び議事録作成を行うこと。

⑦ 庁内検討会議 6回程度

⑧ 学校関係者による検討会議 3回程度

イ 業務打合せ

⑦ 本業務を円滑に進めるに当たり、作業内容、進捗、スケジュール等について、定期的に打ち合わせを行う。その他、必要に応じて臨時的な打合せやWEB会議等に対応すること。

⑧ 受託者は打ち合わせの議事要旨を作成し、原則として打ち合わせの日から起算して5日以内に市へデータにて提出すること。

ウ 長寿命化計画及び長寿命化計画の概要版の作成

以下の項目を含めた長寿命化計画及び長寿命化計画の概要版の編集、校正、修正を行う。

なお、編集にあたっては、市民にわかりやすく読み手の興味を惹くデザイン・構成に配慮することとする。冊子に用いるイラスト等については、受託者オリジナルのものを作成すること。受託者による本件業務の実施により発生した著作権は、本市に帰属する。

⑦ 学校施設の実態

⑧ 現長寿命化計画の分析

⑨ 施設の耐用年数の考え方

⑩ 施設整備方針

⑪ 実施計画

⑫ 更なるコスト削減及び平準化

⑬ 学校施設の複合化・多機能化への取組み

⑭ カーボンニュートラルに向けた環境負荷抑制策

⑮ 長寿命化計画の継続的運用方針

6 成果品

(1) 令和6年度及び令和7年度業務報告書 一式

- (2) 劣化状況調査票 一式
- (3) 学校別条件シート 一式
- (4) アンケート調査票及び回答用封筒 1,800部 (アンケート実施前に納品)
- (5) アンケート調査結果 5部
- (6) 長寿命化計画 50部 (A4版、カラー、100ページ程度)
- (7) 長寿命化計画 (概要版) 70部 (A4版、カラー、8ページ程度)
- (8) (1)~(7)の電子データ 一式 (CD-R 等)

7 著作権

作成した資料、計画書その他の成果物の著作権については、全て委託者に属するものとする。

8 委託料の支払い

- (1) 第1回 令和7年4月 (予定)
- (2) 第2回 令和8年4月 (予定)

9 その他

- (1) 本業務で受託者が作成する資料については、必要に応じてカラー化並びに図やイラスト等を用いて、見やすく理解が深まりやすいデザインとし、原則として市が編集可能なデータとすること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項又は仕様書で疑義が生じた場合は、双方協議の上、定めるものとする。